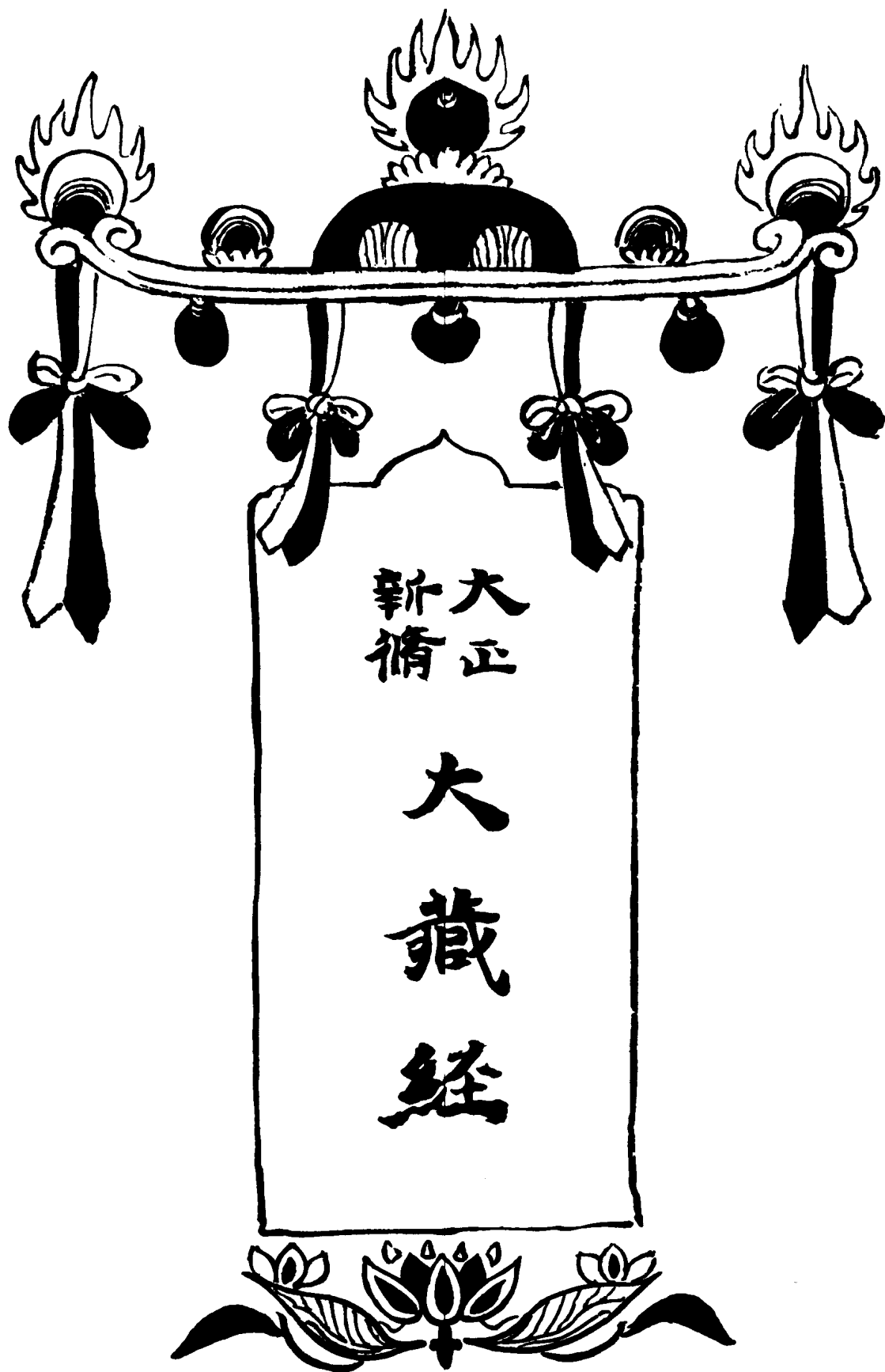


大
藏
經

釋淨室敬題





略 符 (Abbreviations)

- ㊦ 宋,元,明,三本 (The 'Three Editions' of the Sung, the Yuan and the Ming dynasties)
- ㊧ 宋本 (The 'Sung Edition' A. D. 1239)
- ㊨ 元本 (The 'Yuan Edition' A. D. 1290)
- ㊩ 明本 (The 'Ming Edition' A. D. 1601)
- These Dates are subject to re-examination.
- ㊪ 正倉院聖語藏本(天平寫經) (The Tempyō Mss. [A.D. 729-] and the Chinese Mss. of the Sui [A.D.581-617] and Tang [A.D. 618-822] dynasties, belonging to the Imperial Treasure House Shōsō-in at Nara, specially called Shōgo zō)
- ㊫ 宮内省圖書寮本(舊宋本) (The Old Sung Edition [A. D. 1104-1148] belonging to the Library of the Imperial Household)
- ㊬ 大徳寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Daitoku-ji')
- ㊭ 萬徳寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Mantoku-ji')
- ㊮ 石山寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Ishiyama-dera')
- ㊯ 知恩院本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Chion-in')
- ㊰ 醍醐寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Daigo-ji')
- ＝ 作(異文……ニ作ル, 'Various reading')
- 例 得元明俱作相トスベキヲ得ニ相㊧㊨ (i. e. The Yuan and the Ming Editions read 相 for 得)
- 一 無(異本ニ〔……〕無シ, 'Omit' 'diest')
- 例 宋元俱無心字トスベキヲ〔心〕一㊧㊨ (i. e. The Sung and the Yuan Editions omit 心)
- ＋ 有(異本ニ〔……〕有リ, 'add')
- 例 (a) 我下三本俱有時於彼遇值世尊七字トスベキヲ 我十(時於彼遇值世尊)㊦
(i. e. The Three Editions add 時於彼遇值世尊 after 我)
- (b) 尊上三本俱有我時於彼遇值世七字トスベキヲ (我時於彼遇值世)十尊㊦
(i. e. The Three Editions add 我時於彼遇值世 before 尊)
- * 下同(以下之ニ同シ, 上ニ同シ 'So below,' 'So above,' 'et passim,')
- 例 本文(Text) 世尊正 ㊱遊知
- 註 (Note) 遊三本俱作還下同トスベキヲ ㊱還ニ還㊱* (i. e. The Three Editions read 還 for 遊, so also below)
- … 畧(字句省略, 'Letters or Sentences left out,' 'down to')
- 例 (a) 彼依此處觀覺興衰八字トスベキヲ (彼依…興衰)八字(i. e. 'From 彼依 down to 興衰, eight letters.')
- (b) 彼依乃至興衰八字トスベキヲ (彼依…興衰)八字(i. e. 'From 彼依 down to 興衰, eight letters.')
- (c) 已上三本俱無彼依乃至興衰八字トスベキヲ〔彼依…興衰〕八字一㊱ (i. e. 'From 彼依 down to 興衰, eight letters are left out in the Three Editions.')
- ㊲ 異同(卷品ノ同異, 'Various division'), (文章ノ出入, 'Various sentence')

略 符 (Abbreviations)

- ㊦ 宋,元,明,三本 (The 'Three Editions' of the Sung, the Yuan and the Ming dynasties)
- ㊦ 宋本 (The 'Sung Edition' A. D. 1239)
 ㊦ 元本 (The 'Yuan Edition' A. D. 1290)
 ㊦ 明本 (The 'Ming Edition' A. D. 1601)
 ㊦ 麗本 (The 'Kao-Li Edition' A.D.1151) } These Dates are subject to re-examination.
- ㊦ 正倉院藏本(天平寫經) (The Tempyō Mss. [A.D. 729-] and the Chinese Mss. of the Sui [A.D.581-617] and Tang [A.D. 618-822] dynasties, belonging to the Imperial Treasure House Shōsō-in at Nara, specially called Shōgo-zō)
- ㊦ 宮内省圖書寮本(舊宋本) (The Old Sung Edition [A. D. 1104-1148] belonging to the Library of the Imperial Household)
- ㊦ 大徳寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Daitoku-ji')
- ㊦ 萬徳寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Mantoku-ji')
- ㊦ 石山寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Ishiyama-dera')
- ㊦ 知恩院本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Chion-in')
- ㊦ 醍醐寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Daigo-ji')
- ㊦ 仁和寺藏本 (Ninnaji Mss. by Kūkai and others. C. 800. A.D.)
- ㊦ 中村不折氏藏本 (Mr. Nakamura's Mss. from Tun-huang)
- 二 作(異文……ニ作ル, 'Various reading')
- 例 得元明俱作相トスベキヲ得ニ相㊦㊦ (i. e. The Yuan and the Ming Editions read 相 for 得)
- 一 無(異本ニ〔……〕無シ, 'Omit' 'diest')
- 例 宋元俱無心字トスベキヲ〔心〕ニ㊦㊦ (i. e. The Sung and the Yuan Editions omit 心)
- 十 有(異本ニ〔……〕有リ, 'add')
- 例 (a) 我下三本俱有時於彼過值世尊七字トスベキヲ 我十(時於彼過值世尊)㊦
 (i. e. The Three Editions add 時於彼過值世尊 after 我)
- (b) 尊上三本俱有我時於彼過值世七字トスベキヲ (我時於彼過值世)十尊㊦
 (i. e. The Three Editions add 我時於彼過值世 before 尊)
- * 下同(以下之ニ同シ, 上ニ同シ 'So below,' 'So above,' 'et passim,')
- 例 本文(Text) 世尊正 ㊦遊知
- 註 (Note) 遊三本俱作遍下同トスベキヲ ㊦遊ニ遍㊦* (i. e. The Three Editions read 遍 for 遊, so also below)
- … 略(字句省略, 'Letters or Sentences left out,' 'down to')
- 例 (a) 彼依此處觀覺興衰八字トスベキヲ (彼依…興衰)八字(i. e. 'From 彼依 down to 興衰, eight letters.')
- (b) 彼依乃至興衰八字トスベキヲ (彼依…興衰)八字(i. e. From 彼依 down to 興衰, eight letters.')
- (c) 已上三本俱無彼依乃至興衰八字トスベキヲ〔彼依…興衰〕八字ニ㊦ (i. e. 'From 彼依 down to 興衰, eight letters are left out in the Three Editions.')
- ㊦ 異同(卷品ノ同異, 'Various division'), (文章ノ出入, 'Various sentence')

目次

二六 一 妙法蓮華經（七卷或八卷）[Nos. 263, 264, Saddharmapundarika].....梵 鳩 摩 羅 什 譯.....1

御製序 明太宗文皇帝製.....1

弘傳序 唐沙門道宣述.....1

(一) 序	品 (一)	正 法 華	瑞	添 品 法 華	梵 本
(二) 方便	品 (二)	善 權	(一) 序	(一) 序	1. Nidāna
(三) 譬喻	品 (三)	應 時	(二) 方	(二) 方	2. Upāyakaṇḍalya
(四) 信解	品 (四)	信 樂	(三) 譬	(三) 譬	3. Aupamaṃya
(五) 藥草	品 (五)	藥 草	(四) 信	(四) 信	4. Adhimukti
(六) 授記	品 (六)	授 聲 聞	(五) 藥	(五) 藥	5. Oṣadhi
(七) 化城	品 (七)	往 古 決	(六) 授	(六) 授	6. Vyākaraṇa
(八) 五百弟子受記	品 (八)	授 五百弟子決	(七) 化	(七) 化	7. Pūrvayoga
(九) 授學無學人記	品 (九)	授 阿難難羅云決	(八) 授	(八) 授	8. Pañcabhikṣuśata-vyākaraṇa
(十) 法師	品 (十)	藥 王 如 來	(九) 授	(九) 授	9. Vyākaraṇa
(十一) 見寶塔	品 (十一)	七 寶 塔	(十) 藥	(十) 藥	10. Dharmabhāṣaka
(十二) 提婆達多	品 (十二)	同 寶 塔	(十一) 見	(十一) 見	11. Stūpasamudāśana
(十三) 勸持	品 (十三)	同 寶 塔	(十二) 提	(十二) 提	12. Utsaḥa
(十四) 安樂行	品 (十四)	同 寶 塔	(十三) 勸	(十三) 勸	13. Sukhavihāra
(十五) 從地踊出	品 (十五)	同 寶 塔	(十四) 安	(十四) 安	14. Bodhisattva-pṛthivivara-
(十六) 如來壽量	品 (十六)	同 寶 塔	(十五) 從	(十五) 從	15. samudgama
(十七) 分別功德	品 (十七)	同 寶 塔	(十六) 如	(十六) 如	16. Puṇyaparyāya
(十八) 隨喜功德	品 (十八)	同 寶 塔	(十七) 分	(十七) 分	17. Anumodanāpūjya-nirdeśa

(一) 法師功德品 (一)	四七	(一) 歎 法 師	二二	(一) 法師功德	18. Dharmaśīlaṅkāraṁkāṁsī
(二) 常不輕菩薩品 (二)	五〇	(二) 常 被 輕 慢	二二	(二) 常不輕菩薩	19. Sādhapāṇhita
(三) 如來神力品 (三)	五一	(三) 如 來 神 足 行	二二	(三) 如來神力	20. Tathāgataṁdityaśubhaya-
(四) 囑 累 品 (四)	五二	(四) 囑 累	二二	(四) 囑 累	21. Anuparidantā
(五) 藥王菩薩本事品 (五)	五三	(五) 藥 王 菩 薩	二二	(五) 藥王菩薩本事	22. Vaisajyāṁ-pūrvayoga
(六) 妙音菩薩品 (六)	五五	(六) 妙 吼 菩 薩	二二	(六) 妙音菩薩	23. Gadgadasvara
(七) 觀世音菩薩普門品 (七)	五八	(七) 光 世 音 普 門	二二	(七) 觀世音菩薩普門	24. Samantamukha
(八) 陀羅尼品 (八)	五九	(八) 總 持	二二	(八) 陀羅尼	21. Dhāraṇī
(九) 妙莊嚴王本事品 (九)	六〇	(九) 淨 復 淨 王	二二	(九) 妙莊嚴王本事	25. Śubhavyūhārājapūrvayoga
(十) 普賢菩薩勸發品 (十)	六一	(十) 樂 普 賢	二二	(十) 普賢菩薩勸發	26. Samantabhadrotsāhana

後 序 姚後秦沙門僧叡述

二六三 正法華經 (十卷) [Nos. 262, 261]

西晉竺法護譯

(一) 光 瑞 品 (一)	六三	(一) 如來現壽品 (一)	二二
(二) 善 權 品 (二)	六七	(二) 御 福 事 品 (二)	二二
(三) 應 時 品 (三)	七三	(三) 勸 助 品 (三)	二二
(四) 信 樂 品 (四)	八〇	(四) 歎 法 師 品 (四)	二二
(五) 藥 草 品 (五)	八三	(五) 常 被 輕 慢 品 (五)	二二
(六) 授 聲 聞 決 品 (六)	八六	(六) 如 來 神 足 行 品 (六)	二二
(七) 往 古 品 (七)	八八	(七) 藥 王 菩 薩 品 (七)	二二
(八) 授 五 百 弟 子 決 品 (八)	九四	(八) 妙 吼 菩 薩 品 (八)	二二
(九) 授 阿 難 羅 云 決 品 (九)	九七	(九) 光 世 音 普 門 品 (九)	二二
(十) 藥 王 如 來 品 (十)	九九	(十) 總 持 品 (十)	二二
(十一) 七 寶 塔 品 (十一)	一〇一	(十一) 淨 復 淨 王 品 (十一)	二二
(十二) 勸 說 品 (十二)	一〇六	(十二) 樂 普 賢 品 (十二)	二二
(十三) 安 行 品 (十三)	一〇七	(十三) 囑 累 品 (十三)	二二
(十四) 菩 薩 從 地 踊 出 品 (十四)	一〇		

二六四 添品妙法蓮華經 (七卷) [Nos. 262, 263]

隋 闍那崛多共笈多譯

序	文	一三四
(一) 序	品 (一)	一三四
(二) 方便	品 (二)	一三八
(三) 譬喻	品 (三)	一四三
(四) 信解	品 (四)	一四九
(五) 藥草喻	品 (五)	一五一
(六) 授記	品 (六)	一五五
(七) 化城喻	品 (七)	一五六
(八) 五百弟子授記	品 (八)	一六二
(九) 授學無學人記	品 (九)	一六四
(一〇) 法師	品 (一〇)	一六五
(一一) 見寶塔	品 (一一)	一六六
(一二) 勸持	品 (一二)	一七〇
(一三) 安樂行	品 (一三)	一七一

(一四) 從地踊出	品 (一四)	一七四
(一五) 如來壽量	品 (一五)	一七六
(一六) 分別功德	品 (一六)	一七八
(一七) 隨喜功德	品 (一七)	一八〇
(一八) 法師功德	品 (一八)	一八一
(一九) 常不輕菩薩	品 (一九)	一八四
(二〇) 如來神力	品 (二〇)	一八五
(二一) 陀羅尼	品 (二一)	一八六
(二二) 藥王菩薩本事	品 (二二)	一八七
(二三) 妙音菩薩	品 (二三)	一九〇
(二四) 觀世音菩薩普門	品 (二四)	一九一
(二五) 妙莊嚴王本事	品 (二五)	一九三
(二六) 普賢菩薩勸發	品 (二六)	一九四
(二七) 囑累	品 (二七)	一九五

二六五 薩曇分陀利經 (一卷) [Nos. 262 (11), 263 (11), 264 (11)] 失 譯 一九七

二六六 佛說阿惟越致遮經 (三卷) [Nos. 267, 268] 西晉竺法護譯 一九八

(一) 不退轉法輪	品 (上)	一九八
(二) 持信	品 (上)	二〇一
(三) 奉法	品 (上)	二〇三
(四) 八等	品 (上)	二〇四
(五) 道跡	品 (上)	二〇五
(六) 往來	品 (上)	二〇六
(七) 不還	品 (中)	二〇七
(八) 無著	品 (中)	二〇八
(九) 聲聞	品 (中)	二一〇

(一〇) 緣覺	品 (中)	二二
(一一) 釋果想	品 (中)	二二
(一二) 降魔	品 (中)	二四
(一三) 如來	品 (下)	二九
(一四) 開化	品 (下)	三三
(一五) 師子女	品 (下)	三三
(一六) 歎法師	品 (下)	三四
(一七) 譏謗	品 (下)	三四
(一八) 囑累	品 (下)	三五

二六七 不退轉法輪經 (四卷) [Nos. 266, 268] 僧祐錄云安公涼土異經在北涼錄第二譯 二二六

(一) 序	品 (一)	二二六
-------	-------	-----

(二) 信行	品 (二)	二二六
--------	-------	-----

(三) 聲聞辟支佛品 (三)	二四三	(七) 受記品 (四)	二四六
(四) 重釋二乘相品 (三)	二四〇	(八) 現見品 (四)	二五〇
(五) 除想品 (三)	二四一	(九) 安養國品 (四)	二五一
(六) 降魔品 (三)	二四四		
二六八 佛說廣博嚴淨不退轉輪經 (六卷) [Nos. 266, 267]	二五四		
二六九 佛說法華三昧經 (一卷)	宋智嚴譯		
二七〇 大法鼓經 (二卷) [No. 271]	宋智嚴譯		
二七一 佛說菩薩行方便境界神通變化經 (三卷) [No. 270]	劉宋求那跋陀羅譯		
二七二 大薩遮尼乾子所說經 (十卷)	劉宋求那跋陀羅譯		
	元魏菩提留支譯		
(一) 序品 (一)	三二七	(七) 問罪過品 (五)	三二九
(二) 問疑品 (一)	三二八	(八) 如來無過功德品 (六一)	三三〇
(三) 一乘品 (一一)	三二九	(九) 詣如來品 (一)	三三九
(四) 詣嚴藏王品 (三)	三二七	(一〇) 說法品 (九一)	三六〇
(五) 王論品 (三一)	三三九	(一一) 授記品 (一〇)	三六一
(六) 請食品 (五)	三三八	(一二) 信功德品 (一〇)	三六四
二七三 金剛三昧經 (一卷)	失譯		
(一) 序品	三六五		
(二) 無相法品	三六五	(五) 入實際品	三六九
(三) 無生行品	三六六	(六) 眞性空品	三七〇
(四) 本覺利品	三六七	(七) 如來藏品	三七一
	三六八	(八) 總持品	三七二
二七四 佛說濟諸方等學經 (一卷) [No. 273]	西晉竺法護譯		
二七五 大乘方廣總持經 (一卷) [No. 274]	隋毘尼多流支譯		
二七六 無量義經 (一卷)	隋曇摩伽陀耶舍譯		
無量義經序	三六三	(三) 說法品	三八五
(一) 德行品	三八四	(四) 十功德品	三八七

二七七 佛說觀普賢菩薩行法經 (一卷) 劉宋曇無蜜多譯 三八九
 二七八 大方廣佛華嚴經 (六十卷) [No. 279] 東晉佛跋跋陀羅譯 三九五

(一) 世間淨眼品 (一)	三九五
(二) 盧舍那佛品 (二)	四〇五
(三) 如來名號品 (三)	四一八
(四) 四諦品 (四)	四二〇
(五) 如來光明覺品 (五)	四二二
(六) 菩薩明難品 (六)	四二七
(七) 淨行品 (七)	四三〇
(八) 賢首菩薩品 (八)	四三二
(九) 佛昇須彌預品 (九)	四四一
(一〇) 菩薩雲集妙勝殿上說偈品 (十)	四四一
(一一) 菩薩十住品 (一一)	四四九
(一二) 梵行品 (一二)	四四九
(一三) 初發心菩薩功德品 (一三)	四四九
(一四) 明法品 (一四)	四四八
(一五) 佛昇夜摩天宮自在品 (一五)	四六二
(一六) 夜摩天宮菩薩說偈品 (一六)	四六三
(一七) 功德華聚菩薩十行品 (一七)	四六六

(一八) 菩薩十無盡藏品 (一八)	四七四
(一九) 如來昇兜率天宮一切寶殿品 (一九)	四七八
(二〇) 兜率天宮菩薩雲集讚佛品 (二〇)	四八五
(二一) 金剛幢菩薩十迴向品 (二一)	四八八
(二二) 十地品 (二二)	四九二
(二三) 十明品 (二三)	五七八
(二四) 十忍品 (二四)	五八〇
(二五) 心王菩薩問阿僧祇品 (二五)	五八六
(二六) 壽命品 (二六)	五八九
(二七) 菩薩住處品 (二七)	五八九
(二八) 佛不思議法品 (二八)	五九〇
(二九) 如來相海品 (二九)	六〇一
(三〇) 佛小相光明功德品 (三〇)	六〇五
(三一) 普賢菩薩行品 (三一)	六〇七
(三二) 寶王如來性起品 (三二)	六一一
(三三) 離世間品 (三三)	六三一
(三四) 入法界品 (三四)	六七六

御製大乘妙法蓮華經序

昔如來於耆闍崛山中。與大阿羅漢阿若憍陳如摩訶迦葉無量等衆。演說大乘真經。名無量義。是時天雨寶華布覆充滿。慧光現瑞洞燭幽顯。普佛世界六種震動。一切人天得未曾有。咸皆歡喜讚歎。以爲是經乃諸佛如來祕密之藏。神妙叵測。廣大難名。所以拔滯溺之沈流。拯昏迷之失性。功德弘遠莫可涯涘。祈求其源。肇彼竺乾流於震旦。爰自西晉沙門竺法護者初加翻譯。名曰正法華。暨東晉龜茲三藏法師鳩摩羅什重翻。名曰妙法蓮華。至隋天竺沙門闍那笈多所翻者。亦名妙法。雖三經文理重沓互陳。而惟三藏法師獨得其旨。第歷世既遠。不無訛謬。匪資刊正。漸致多疑。用是特加鑒校。仍命鑲梓。以廣其傳。嗚呼如來感諸衆生。有種種性種種欲種種行種種憶想分別。歷劫纏繞無有出期。乃爲此大事因緣現世。敷暢妙旨。作殊勝方便。俾皆得度脫超登正覺。此誠濟海之津梁。而燭幽之慧炬也。善男子善女人一切衆生。能秉心至誠。持誦佩服頂禮供養。即離一切苦惱。除一切業障。解一切生死之厄。不啻如飢之得食。如渴之得飲。如寒之得火。如熱之得涼。如貧之得寶。如病之得醫。如子之得母。如渡之得舟。其爲快適欣慰。有不可言。噫道非經無以寓。法非經無以傳。緣經以求

法。緣法以悟道。方識是經之旨。清淨微妙第一希有。遵之者則身臻康泰。諸種善根圓滿具足。如蓮華出水不染淤泥。即得五蘊皆空六根清淨。遍躋上善。以成於正覺者不難矣。苟或沈迷膠固。甘心墮落絕滅善根。則身罹苦趣。輪回於生死之域者。其有紀極哉。雖然善惡兩途。由人所趨。爲善獲吉。爲惡獲凶。幽明果報。不爽錙銖。觀於是經者。尙戒之哉。尙勉之哉
永樂十八年四月十七日

妙法蓮華經弘傳序

唐終南山釋道宣述

妙法蓮華經者。統諸佛降靈之本致也。蘊結大夏出彼千齡。東傳震旦三百餘載。西晉惠帝永康年中。長安青門燉煌菩薩竺法護者。初翻此經。名正法華。東晉安帝隆安年中。後秦弘始。龜茲沙門鳩摩羅什。次翻此經。名妙法蓮華。隋氏仁壽。大興善寺北天竺沙門闍那笈多。後所翻者。同名妙法。三經重沓文旨互陳。時所宗尙。皆弘秦本。自餘支品別偈不無其流。具如序曆。故所非述
夫以靈嶽降靈。非大聖無由開化。適化所及。非昔緣無以導心。所以仙苑告成。機分小大之別。金河順命。道殊半滿之科。豈非教被乘時。無足覈其高會。是知五千退席。爲進增慢之儔。五百授記。俱崇密化之跡。所以放

光現瑞。開發請之教源。出定揚德。暢佛慧之宏略。朽宅通入大之文軌。化城引昔緣之不墜。繫珠明理性之常在。鑿井顯示悟之多方。詞義宛然。喻陳惟遠。自非大哀曠濟。拔滯溺之沈流。一極悲心。拯昏迷之失性。自漢至唐六百餘載。總歷群籍四千餘軸。受持盛者。無出此經。將非機教相扣。並智勝之遺塵。聞而深敬。俱威王之餘勅。輒於經首。序而綜之。庶得早淨六根。仰慈尊之嘉會。速成四德。趣樂土之玄猷。弘贊莫窮。永貽諸後。云爾

妙法蓮華經卷第一

後秦龜茲國三藏法師鳩摩羅什奉詔譯

序品第一

如是我聞。一時佛住王舍城耆闍崛山中。與大比丘衆萬二千人俱。皆是阿羅漢。諸漏已盡。無復煩惱。逮得已利。盡諸有結。心得自在。其名曰阿若憍陳如。阿若憍陳如。優樓頻螺迦葉。迦耶迦葉。那提迦葉。舍利弗。大目犍連。摩訶迦旃延。阿菟樓駄。劫寶那。憍梵波提。離婆多。畢陵伽婆蹉。薄拘羅。摩訶拘絺羅。難陀。孫陀羅難陀。富樓那。彌多羅尼子。須菩提。阿難。羅睺羅。如是衆所。知識大阿羅漢等。復有學無學二千人。摩訶波闍波提比丘尼。與眷屬六

◎此序依明本做 ◎此序依明本載而對校宋本元本 ◎〔唐〕一◎◎ ◎龜二◎◎◎◎ ◎阿二◎◎◎ ◎Saddharmapundarika sūtra; (妙法蓮華經七卷一部成)十妙◎ ◎第二之◎◎ ◎後秦龜茲國三藏法師◎◎, (後秦...譯)一◎◎ ◎1. Nidāna; (妙法蓮華經)十序◎◎◎ ◎Ajāṭakapundrīya. ◎Mahākāśyapa. ◎Uruvilvākāśyapa. ◎Gayākāśyapa. ◎Nadikāśyapa. ◎Śāriputra. ◎Mahīmaudgalāyāna. 第二◎◎ ◎Mahākāśyāyana. ◎Aniruddha. ◎Kapphina. ◎Gavāṃpati. ◎Revata. ◎Pīlindavatsa. ◎Bakkula. ◎Mahākauṣṭhīla. ◎Nanda. ◎Sundarananda. ◎Pūrṇamaitrāyaṇīputra. ◎Suphūti. ◎Ānanda. ◎Rāhula. ◎Mahāprajāpati.

千人俱。○羅睺羅母。耶輸陀羅比丘尼。亦與眷屬俱。菩薩摩訶薩八萬人。皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉。皆得陀羅尼樂說辯才。轉不退轉法輪。供養無量百千諸佛。於諸佛所。殖衆德本。常爲諸佛之所稱歎。以慈修身。善入佛慧。通達大智。到於彼岸。名稱普聞。無量世界。能度無數百千衆生。其名曰。文殊師利菩薩。觀世音菩薩。得大勢菩薩。常精進菩薩。不休息菩薩。寶掌菩薩。藥王菩薩。勇施菩薩。寶月菩薩。月光菩薩。滿月菩薩。大力菩薩。無量力菩薩。越三界菩薩。跋陀婆羅菩薩。彌勒菩薩。寶積菩薩。導師菩薩。如是等菩薩摩訶薩八萬人俱。

爾時釋提桓因。與其眷屬二萬天子俱。復有名月天子。普香天子。寶光天子。四大天王。與其眷屬萬天子俱。自在天子。大自在天子。與其眷屬三萬天子俱。娑婆世界主。梵天王。尸棄大梵。光明大梵等。與其眷屬萬二千天子俱。有八龍王。難陀龍王。跋難陀龍王。娑伽羅龍王。和脩吉龍王。德叉迦龍王。阿那婆達多龍王。摩那斯龍王。優鉢羅龍王等。各與若干百千眷屬俱。有四緊那羅王。法緊那羅王。妙法緊那羅王。大法輪那羅王。持法緊那羅王。各與若干百千眷屬俱。有四乾闥婆王。樂乾闥婆王。樂音乾闥婆王。美乾闥婆王。美音乾闥婆王。各與若干百千眷屬俱。有四阿修羅王。婆稚阿修羅王。佉羅耆駄阿修羅王。

毘摩質多羅阿修羅王。羅睺阿修羅王。各與若干百千眷屬俱。有四迦樓羅王。大威德迦樓羅王。大身迦樓羅王。大滿迦樓羅王。如意迦樓羅王。各與若干百千眷屬俱。韋提希子阿闍世王。與若干百千眷屬俱。各禮佛足。退坐一面。

爾時世尊四衆圍遶。供養恭敬尊重讚歎。爲諸菩薩說大乘經。名無量義救苦薩法佛所護念。佛說此經已。結跏趺坐。入於無量義處三昧。身心不動。是時天雨曼陀羅華。摩訶曼陀羅華。曼殊沙華。摩訶曼殊沙華。而散佛上及諸大衆。普佛世界六種震動。爾時會中比丘比丘尼優婆塞優婆夷。天龍夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅緊那羅摩睺羅伽人非人。及諸小王轉輪聖王。是諸大衆得未曾有。歡喜合掌一心觀佛。爾時佛放眉間白毫相光。照東方萬八千世界。靡不周遍。下至阿鼻地獄。上至阿迦尼吒天。於此世界盡見彼土六趣衆生。又見彼土現在諸佛。及聞諸佛所說經法。并見彼諸比丘比丘尼優婆塞優婆夷諸修行得道者。復見諸菩薩摩訶薩種種因緣種種信解種種相續行。菩薩道。復見諸佛般涅槃者。復見諸佛般涅槃後。以佛舍利起七寶塔。爾時彌勒菩薩作是念。今者世尊現神變相。以何因緣而有此瑞。今佛世尊入于三昧。是不可思議現希有事。當以問誰。誰能答者。復作此念。是文殊師利法王子。已曾親近供養過去無量諸佛。必應見此希有之相。我今當問。爾

Asura. 阿修羅. Balin. 跋藍. Kharaskandha. 跋藍. Vemac'tri. 大威德. Garuda. 大鳥. Mahātejas. 大威德. Mahākāya. 大滿. Mahāpūrṇa. 如意. Mahārdhiprāta. 無量義. Mahānirdeśa. 佛. 加. 無量義. Anantanirdeśapratigīḥ. 下. 阿鼻. Avici.

時比丘比丘尼優婆塞優婆夷。及諸天龍鬼神等咸作此念。是佛光明神通之相。今當問誰。爾時彌勒菩薩欲自決疑。又觀四衆比丘比丘尼優婆塞優婆夷。及諸天龍鬼神等衆會之心。而問文殊師利言。以何因緣而有此瑞神通之相。放大光明照于東方萬八千土。悉見彼佛國界莊嚴。於是彌勒菩薩。重宣此義。以偈問曰。

文殊師利。導師何故。大光普照。雨曼陀羅。梅檀香風。悅可衆心。地皆嚴淨。而此世界。時四部衆。咸皆歡喜。得未曾有。眉間光明。皆如金色。萬八千土。諸世界中。上至有頂。善惡業緣。生死所趣。又觀諸佛。演說經典。微妙第一。出柔軟音。教諸菩薩。梵音深妙。令人樂聞。講說正法。種種因緣。開悟衆生。照明佛法。若人遭苦。

Rāhulamātr. 耶輸陀羅. Yasoḥarā. 耶輸陀羅. Dhārapi. 耶輸陀羅. 耶輸陀羅. Mañjuśrī. 觀世音. 耶輸陀羅. Mahāsthāmaprāpta. 常精進. Nityodyukta. 不休息. Anikṣiptadhura. 寶掌. Ratnapāṇi. 勇施. Pradānaśūra. 寶月. Ratnapāṇi. 寶光. Ratnaprabha. 滿月. Pūrṇacandra. 大力. Mahāvīkrāmin. 無量力. Anantavīkrāmin. 越三界. Traḥlokyavīkrāmin. Bhadrāpālā. 彌勒. Maitreya. 寶積. Ratnakāra. 韋提桓因. Śakradevānāmindra. 婆稚. Sahā. 佉羅耆駄. Śikhin. 光明. Jyotiḥprabha. 南無. Nanda. 阿難. Upananda. 善哉. Sāgara. 善哉. Vāsuki. 善哉. Takṣaka. 阿那婆達多. Manasvin. 憍尸迦. Kinnara. 乾闥婆. Gandharva. 樂. Marojña. 樂. Marojñasvara. 美. Madhura. 美. Madhurasvara.

濟地獄苦	未嘗睡眠	又見具戒	以求佛道	增上慢人	以求佛道	及癡眷屬	攝念山林	或見菩薩	施佛及僧	或無價衣	栴檀寶舍	清淨園林	施佛及僧	歡喜無厭	說寂滅法	或見菩薩	猶如虛空	以此妙慧	又有菩薩	又見佛子	嚴飾國界	縱廣正等	各千幢幡	諸天龍神	常以供養	爲供舍利	殊特妙好	佛放一光
令入佛道	經行林中	威儀無缺	惡罵捶打	又見佛子	又見菩薩	親近智者	億千萬歲	儲饍飲食	名衣上服	施佛及僧	衆妙臥具	華菓茂盛	如是等施	求無上道	種種教詔	觀諸法性	又見佛子	求無上道	佛滅度後	造諸塔廟	寶塔高妙	二千由旬	珠交露幔	人及非人	文殊師利	嚴飾塔廟	如天樹王	我及衆會
又見佛子	勸求佛道	淨如寶珠	住忍辱力	皆悉能忍	離諸戲笑	一心除亂	以求佛道	百種湯藥	價直千萬	千萬億種	施佛及僧	流泉浴池	種果微妙	或有菩薩	無數衆生	無有二相	心無所著	文殊師利	供養舍利	無數恒沙	五千由旬	一塔廟	寶鈴和鳴	香華伎樂	諸佛子等	國界自然	其華開敷	見此國界

種種殊妙 諸佛神力 智慧希有
放一淨光 照無量國 我等見此
得未曾有 佛子文殊 願決衆疑
四衆欣仰 瞻仁及我 世尊何故
放斯光明 佛子時答 決疑令喜
何所饒益 演斯光明 佛坐道場
所得妙法 爲欲說此 爲當授記
示諸佛土 衆寶嚴淨 及見諸佛
此非小緣 文殊當知 四衆龍神
瞻察仁者 爲說何等
爾時文殊師利語 彌勒菩薩摩訶薩及諸大
士善男子等如我惟忖今佛世尊欲說大
法雨大法雨吹大法螺擊大法鼓演大法
義諸善男子我於過去諸佛曾見此瑞放
斯光已卽說大法是故當知今佛現光亦
復如是欲令衆生咸得聞知一切世間難
信之法故現斯瑞諸善男子如過去無量
無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號曰
月燈明如來應供正遍知明行足善逝世間解
無上士調御丈夫天人師佛世尊演說正法
初善中善後善其義深遠其語巧妙純一
無雜具足清白梵行之相爲求聲聞者
說應四諦法度生老病死究竟涅槃爲求
辟支佛者說應十二因緣法爲諸菩薩說
應六波羅蜜令得阿耨多羅三藐三菩提
成一切種智次復有佛亦名日月燈明
次復有佛亦名日月燈明如是二萬佛皆
同一字號日月燈明又同一姓姓曰彌勒
當知初佛後佛皆同一字名日月

①若一若②車渠馬廐一伸確碼③④腦一腦⑤布施一布放⑥被一披⑦五二悟⑧菓二果⑨果二種⑩詔一
招⑪日月燈明。Candraśūryapadīpa. ⑫Bhāradvāja.

燈明。十號具足。所可說法初中後善。其最後佛未出家時。有八王子。一名有意。二名善意。三名無量意。四名寶意。五名增意。六名除疑意。七名。需意。八名法意。是八王子威德自在。各領四天下。是諸王子。聞父出家得阿耨多羅三藐三菩提。悉捨王位。亦隨出家。發大乘意。常修梵行。皆為法師。已於千萬佛所。殖諸善本。是時日月燈明佛。說大乘經。名無量義教菩薩法。佛所護念。說是經已。即於大眾中結加趺坐。入於無量義處三昧。身心不動。是時天雨曼陀羅華。摩訶曼陀羅華。曼殊沙華。摩訶曼殊沙華。而散佛上及諸大眾。普佛世界六種震動。爾時會中比丘比丘尼優婆塞優婆夷。天龍夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅緊那羅摩睺羅伽人非人。及諸小王轉輪聖王等。是諸大眾得未曾有。歡喜合掌一心觀佛。

爾時如來放眉間白毫相光。照東方萬八千佛土。靡不周遍。如今所見是諸佛土。彌勒當知。爾時會中有二十億菩薩。樂欲聽法。是諸菩薩見此光明普照佛土。得未曾有。欲知此光所為因緣。時有菩薩。名曰妙光。有八百弟子。是時日月燈明佛從三昧起。因妙光菩薩說大乘經。名妙法蓮華教菩薩法。佛所護念。六十小劫不起于座。時會聽者亦坐一處。六十小劫身心不動。聽佛所說。謂如食頃。是時眾中。無有一人若身若心而生懈倦。日月燈明佛。於六十小劫說是經已。即於梵魔沙門婆羅門

及天人阿修羅眾中。而宣此言。如來於今日中夜當入無餘涅槃。時有菩薩。名曰德藏。日月燈明佛。即授其記。告諸比丘。是德藏菩薩。次當作佛。號曰淨身多陀阿伽度阿羅訶三藐三佛陀。佛授記已。便於中夜入無餘涅槃。佛滅度後。妙光菩薩。持妙法蓮華經。滿八十小劫為人演說。日月燈明佛八子。皆師妙光。妙光教化。令其堅固阿耨多羅三藐三菩提。是諸王子。供養無量百千萬億佛已。皆成佛道。其最後成佛者。名曰燃燈。八百弟子中有一人。號曰求名。貪著利養。雖復讀誦眾經。而不通利。多所忘失。故號求名。是人亦以種種善根。因緣故。得值無量百千萬億諸佛。供養恭敬尊重讚歎。彌勒當知。爾時妙光菩薩。豈異人乎。我身是也。求名菩薩汝身是也。今見此瑞與本無異。是故惟付。今日如來當說大乘經。名妙法蓮華教菩薩法。佛所護念。爾時文殊師利於大眾中。欲重宣此義。而說偈言。

我念過去世 無量無數劫
有佛人中尊 號日月燈明
世尊演說法 度無量眾生
無數億菩薩 令入佛智慧
佛未出家時 所生八王子
見大聖出家 亦隨修梵行
時佛說大乘 經名無量義
於諸大眾中 而為廣分別
佛說此經已 即於法座上

*加趺坐三昧 名無量義處
天雨曼陀華 天鼓自然鳴
諸天龍鬼神 供養人中尊
一切諸佛土 即時大震動
佛放眉間光 現諸希有事
此光照東方 萬八千佛土
示一切眾生 生死業報處
有見諸佛土 以眾寶莊嚴
琉璃頗梨色 斯由佛光照
及見諸天人 龍神夜叉眾
乾闥緊那羅 各供養其佛
又見諸如來 自然成佛道
身色如金山 端嚴甚微妙
如淨琉璃中 內現真金像
世尊在大眾 敷演深法義
一一諸佛土 悉見彼大眾
因佛光所照 在於山林中
或有諸比丘 猶如護明珠
精進持淨戒 行施忍辱等
又見諸菩薩 斯由佛光照
其數如恒沙 深入諸禪定
又見諸菩薩 以求無上道
身心寂不動 知法寂滅相
又見諸菩薩 說法求佛道
各於其國土 見日月燈佛
爾時四部眾 共心皆歡喜
現大神通力 是事何因緣
各各自相問 適從三昧起
天人所奉尊

①得二寶②③[土]一④妙光。Varaprabha。⑤[于]一⑥梵魔。Brahmaka。⑦德藏。Śrigarbha。⑧淨身。Vimalanetra。⑨燃燈。Dīpaṅkara。⑩求名。Yasaskāma。⑪適一釋⑫

讚妙光菩薩 汝爲世間眼 能奉持法藏 唯汝能證知 令妙光歡喜 滿六十小劫 所說上妙法 悉皆能受持 令衆歡喜已 告於天人衆 尋卽於是日 諸法實相義 已爲汝等說 當入於涅槃 當離於放逸 億劫時一遇 聞佛入涅槃 佛滅一何速 安慰無量衆 汝等勿憂怖 於無漏實相 其大當作佛 亦度無量衆 如薪盡火滅 而起無量塔 其數如恒沙 以求無上道 奉持佛法藏 廣宣法華經 妙光所開化 當見無數佛 隨順行大道 供養諸佛已

相繼得成佛 轉次而授記 最後天中天 諸仙之導師 是妙光法師 心常懷懈怠 求名利無厭 棄捨所習誦 以是因緣故 亦行衆善業 供養於諸佛 具六波羅蜜 其後當作佛 廣度諸衆生 彼佛滅度後 妙光法師者 我見燈明佛 以是知今佛 今相如本瑞 今佛放光明 諸人今當知 佛當雨法雨 諸求三乘人 佛當爲除斷 令盡無有餘 轉次而授記 號曰燃燈佛 度脫無量衆 時有一弟子 貪著於名利 多遊族姓家 廢忘不通利 號之爲求名 得見無數佛 隨順行大道 今見釋師子 號名曰彌勒 其數無有量 懈怠者汝是 今則我身是 本光瑞如此 欲說法華經 是諸佛方便 助發實相義 合掌一心待 充足求道者 若有疑悔者 令盡無有餘

妙法蓮華經方便品第二

爾時世尊從三昧安詳而起告舍利弗諸佛智慧甚深無量其智慧門難解難入一切聲聞辟支佛所不能知所以者何佛曾親近百千萬億無數諸佛盡行諸佛無量道法勇猛精進名稱普聞成就甚深未曾有法隨宜所說意趣難解舍利弗吾從成佛已來種種因緣種種譬喻廣演言教無數方便引導衆生令離諸著所以者何如來方便知見波羅蜜皆已具足舍利弗如來知見廣大深遠無量無礙力無所畏禪定解脫三昧深入無際成就一切未曾有法舍利弗如來能種種分別巧說諸法言辭柔軟悅可衆心舍利弗取要言之無量無邊未曾有法佛悉成就止舍利弗不須復說所以者何佛所成就第一希有難解之法唯佛與佛乃能究盡諸法實相所謂諸法如是相如是性如是體如是力如是作如是因如是緣如是果如是報如是本末究竟等爾時世尊欲重宣此義而說偈言

世雄不可量 諸天及世人 一切衆生類 無能知佛者 佛力無所畏 解脫諸三昧 及佛諸餘法 無能測量者 本從無數佛 具足行諸道 甚深微妙法 難見難可了 於無量億劫 行此諸道已 道場得成果 我已悉知見 如是大果報 種種性相義 我及十方佛 乃能知是事 是法不可示 言辭相寂滅 諸餘衆生類 無有能得解 除諸菩薩衆 信力堅固者 諸佛弟子衆 曾供養諸佛 一切漏已盡 住是最後身

①已二以②授一受③廣一廣④性一性⑤實相義 Dharmaśvabhāvamudrā. ⑥2. Upāyakaśālyā; (妙法蓮華經)一⑦詳二詳⑧已二以⑨說諸一諸說⑩(是)一佛

如是諸人等 其力所不堪 假使滿世間 皆如舍利弗 盡思共度量 不能測佛智 正使滿十方 皆如舍利弗 及餘諸弟子 亦滿十方刹 盡思共度量 亦復不能知 時舍利弗智 無漏最後身 亦滿十方界 其數如竹林 斯等共一心 於億無量劫 欲思佛實智 莫能知少分 新發意菩薩 供養無數佛 了達諸義趣 又能善說法 如稻麻竹華 充滿十方刹 一心以妙智 於恒河沙劫 咸皆共思量 不能知佛智 不退諸菩薩 其數如恒沙 一心共思求 亦復不能知 又告舍利弗 無漏不思議 甚深微妙法 我今已具得 唯我知是相 十方佛亦然 舍利弗當知 諸佛語無異 於佛所說法 當生大信力 世尊法久後 要當說真實 告諸聲聞衆 及求緣覺乘 我令脫苦縛 速得涅槃者 佛以方便力 示以三乘教 衆生處處著 引之令得出 爾時大衆中 有諸聲聞漏盡阿羅漢阿若橋 陳如等千二百人及發聲聞辟支佛心比丘

比丘尼優婆塞優婆夷 各作是念 今者世尊 何故殷勤稱歎方便而作是言 佛所得法甚深難解 有所言說意趣難知 一切聲聞辟支佛所不能及 佛說一解脫義 我等亦得此法到於涅槃 而今不知是義所趣 爾時舍利弗知四衆心疑 自亦未了 而白佛言 世尊 何因何緣 殷勤稱歎諸佛第一方便甚深微妙難解之法 我自昔來未曾從佛聞如是說 今者四衆咸皆有疑 唯願世尊 敷演斯事 世尊何故殷勤稱歎甚深微妙難解之法 爾時舍利弗欲重宣此義 而說偈言 慧日大聖尊 久乃說是法 自說得如是 力無畏三昧 禪定解脫等 不可思議法 道場所得法 無能發問者 我意難可測 亦無能問者 無問而自說 稱歎所行道 智慧甚微妙 諸佛之所得 無漏諸羅漢 及求涅槃者 今皆墮疑網 佛何故說是 其求緣覺者 比丘比丘尼 諸天龍鬼神 及乾闥婆等 相視懷猶豫 瞻仰兩足尊 是事爲云何 願佛爲解說 於諸聲聞衆 佛說我第一 我今自於智 疑惑不能了 爲是究竟法 爲是所行道

佛口所生子 合掌瞻仰待 願出微妙音 時爲如實說 諸天龍神等 其數如恒沙 求佛諸菩薩 大數有八萬 又諸萬億國 轉輪聖王至 合掌以敬心 欲聞具足道 爾時佛告舍利弗 止止不須復說 若說是事 一切世間諸天及人皆當驚疑 舍利弗重白佛言 世尊 唯願說之 唯願說之 所以者何 是會無數百千萬億阿僧祇衆生 曾見諸佛 諸根猛利智慧明了 聞佛所說則能敬信 爾時舍利弗欲重宣此義 而說偈言 法王無上尊 唯說願勿慮 是會無量衆 有能敬信者 佛復止舍利弗 若說是事 一切世間天人阿修羅 皆當驚疑 增上慢比丘將墜於大坑 爾時世尊重說偈言 止止不須說 我法妙難思 諸增上慢者 聞必不敬信 爾時舍利弗重白佛言 世尊 唯願說之 唯願說之 今此會中 如我等比百千萬億 世世已曾從佛受化 如此人等必能敬信 長夜安隱多所饒益 爾時舍利弗欲重宣此義 而說偈言 無上兩足尊 願說第一法 我爲佛長子 唯垂分別說 是會無量衆 能敬信此法 佛已曾世世 教化如是等

●得二德● ●以二已● ●示以二是已● ●唯二惟● ●微二深● ●(上)一● ●垂二難● ●會二眾● ●明註曰世世南北藏俱作出世

皆一心合掌 欲聽受佛語
我等千二百 及餘求佛者
願爲此衆故 唯垂分別說
是等聞此法 則生大歡喜

爾時世尊告舍利弗。汝已厭離三請。豈得不說。汝今諦聽。善思念之。吾當爲汝分別解說。說此語時。會中有比丘比丘尼優婆塞優婆夷五千人等。即從座起禮佛而退。所以者何。此輩罪根深重及增上慢。未得謂得。未證謂證。有如此失。是以不住。世尊默然而不制止。

爾時佛告舍利弗。我今此衆無復枝葉。純有真實。舍利弗如是增上慢人。退亦佳矣。汝今善聽。當爲汝說。舍利弗言。唯然世尊。願樂欲聞。佛告舍利弗。如是妙法。諸佛如來時乃說之。如優曇鉢華時一現耳。舍利弗。汝等當信佛之所說言不虛妄。舍利弗。諸佛隨宜說法。意趣難解。所以者何。我以無數方便種種因緣譬喻言辭演說諸法。是法非思量分別之所能解。唯有諸佛乃能知之。所以者何。諸佛世尊。唯以一大事因緣故出現於世。舍利弗。云何名諸佛世尊。唯以一大事因緣故出現於世。諸佛世尊欲令衆生開佛知見。使得清淨。故出現於世。欲示衆生佛之知見。故出現於世。欲令衆生悟佛知見。故出現於世。欲令衆生入佛知見道。故出現於世。舍利弗。是爲諸佛告舍利弗。諸佛如來。但教化菩薩。諸有

所作常爲一事。唯以佛之知見示悟衆生。舍利弗。如來但以一佛乘。故爲衆生說法。無有餘乘。若二若三。舍利弗。一切十方諸佛法亦如是。舍利弗。過去諸佛以無量無數方便種種因緣譬喻言辭。而爲衆生演說諸法。是法皆爲一佛乘。故是諸衆生從諸佛聞法。究竟皆得一切種智。舍利弗。未來諸佛當出於世。亦以無量無數方便種種因緣譬喻言辭。而爲衆生演說諸法。是法皆爲一佛乘。故是諸衆生從佛聞法。究竟皆得一切種智。舍利弗。現在十方無量百千萬億佛土中諸佛世尊。多所饒益安樂衆生。是諸佛亦以無量無數方便種種因緣譬喻言辭。而爲衆生演說諸法。是法皆爲一佛乘。故是諸衆生從佛聞法。究竟皆得一切種智。舍利弗。是諸佛但教化菩薩。欲以佛之知見示衆生。故欲令衆生入佛之知見。故舍利弗。我今亦復如是。知諸衆生有種種欲深心所著。隨其本性。以種種因緣譬喻言辭方便。力而爲說法。舍利弗。如此皆爲得一佛乘。一切種智。故舍利弗。十方世界中尚無二乘。何況有三。舍利弗。諸佛出於五濁惡世。所謂劫濁煩惱濁衆生濁見濁命濁。如是舍利弗。劫濁亂時衆生垢重。慳貪嫉妬成就。諸不善根。故諸佛以方便力。於一佛乘分別說三。舍利弗。若我弟子。自謂阿羅漢辟支佛者。不聞不知。諸佛如來但教化菩薩。事此非佛弟子。非阿羅漢。非辟支佛。又舍

利弗。是諸比丘比丘尼。自謂已得阿羅漢。是最後身究竟涅槃。便不復志求阿耨多羅三藐三菩提。當知此輩皆是增上慢人。所以者何。若有比丘實得阿羅漢。若不信此法。無有是處。除佛滅度後現前無佛。所以者何。佛滅度後。如是等經。受持讀誦解義者。是人難得。若遇餘佛。於此法中便得決了。舍利弗。汝等當一心信解受持佛語。諸佛如來言無虛妄。無有餘乘。唯一佛乘。爾時世尊欲重宣此義。而說偈言

比丘比丘尼 有懷增上慢
優婆塞我慢 優婆夷不信
如是四衆等 其數有五千
不自見其過 於戒有缺漏
護惜其瑕疵 是小智已出
衆中之糟糠 佛威德故去
斯人壽福德 不堪受是法
此衆無枝葉 唯有諸真實
舍利弗善聽 諸佛所得法
無量方便力 而爲衆生說
衆生心所念 種種所行道
若干諸欲性 先世善惡業
佛悉知是已 以諸緣譬喻
言辭方便力 令一切歡喜
或說修多羅 伽陀及本事
① 本生 ② 未曾有 ③ 優波提舍經
④ 譬喻 ⑤ 祇夜 ⑥ 貪著於生死
鈍根樂小法 不行深妙道

① 默二 ② 貞二 ③ 今二 ④ 合 ⑤ Udumbara. ⑥ 言辭二 ⑦ 同 ⑧ 下 ⑨ 之 ⑩ 一 ⑪ 力十 ⑫ 故 ⑬ 斯二 ⑭ 安二 ⑮ 忘 ⑯ 說二 ⑰ 說 ⑱ Sūtra. ⑲ Gāthā. ⑳ 本事. Itivuttaka. ㉑ 本生. Jātaka. ㉒ 未曾有. Adbhuta. ㉓ 因緣. Nidāna. ㉔ 譬喻. Aupamyā. ㉕ Geyā. ㉖ Upadēśa. ㉗ 波二 ㉘ 笑

衆苦所惱亂 爲是說涅槃
我設是方便 令得入佛慧
未曾說汝等 當得成佛道
所以未曾說 說時未至故
今正是其時 決定說大乘
我此九部法 隨順衆生說
入大乘爲本 以故說是經
有佛子心淨 柔軟亦利根
無量諸佛所 而行深妙道
爲此諸佛子 說是大乘經
我記如是人 來世成佛道
以深心念佛 修持淨戒故
此等聞得佛 大喜充滿身
佛知彼心行 故爲說大乘
聲聞若菩薩 聞我所說法
乃至於一偈 皆成佛無疑
十方佛土中 唯有一乘法
無二亦無三 除佛方便說
但以假名字 引導於衆生
說佛智慧故 諸佛出於世
唯此一事實 餘二則非眞
終不以小乘 濟度於衆生
佛自住大乘 如其所得法
定慧力莊嚴 以此度衆生
自證無上道 大乘平等法
若以小乘法 乃至於一人
我則墮慳貪 此事爲不可
若人信歸佛 如來不欺誑
亦無貪嫉意 斷諸法中惡

故佛於十方 我以相嚴身
我量衆所尊 無量衆所尊
舍利弗當知 欲令一切衆
如我昔所願 化一切衆生
若我遇衆生 無智者錯亂
我知此衆生 堅著於五欲
以諸欲因緣 輪迴六趣中
受胎之微形 薄德少福人
入邪見稠林 依止此諸見
深著虛妄法 我慢自矜高
於千萬億劫 亦不聞正法
是故舍利弗 說諸盡苦道
我雖說涅槃 諸法從本來
佛子行道已 我有方便力
一切諸世尊 今此諸大衆
而獨無所畏 光明照世間
爲說實相印 我本立誓願
如我等無異 今者已滿足
皆令入佛道 盡教以佛道
迷惑不受教 未曾修善本
癡愛故生惱 墜墮三惡道
備受諸苦毒 世世常增長
衆苦所逼迫 若有若無等
具足六十二 堅受不可捨
諂曲心不實 不聞佛名字
如是人難度 我爲設方便
示之以涅槃 是亦非眞滅
常自寂滅相 來世得作佛
開示三乘法 皆說一乘道
皆應除疑惑

諸佛語無異 過去無數劫
百千萬億種 如是諸世尊
無數方便力 是諸世尊等
化無量衆生 又諸大聖主
天人群生類 更以異方便
若有衆生類 若聞法布施
精進禪智等 如是諸人等
諸佛滅度已 如是諸衆生
諸佛滅度已 起萬億種塔
車渠與馬腦 清淨廣嚴飾
或有起石廟 木檀并餘材
若於曠野中 乃至童子戲
如是諸人等 若人爲佛故
刻彫成衆相 或以七寶成
白鐵及鉛錫 諸佛語無異
唯一無二乘 無量滅度佛
其數不可量 種種緣譬喻
演說諸法相 皆說一乘法
令入於佛道 知一切世間
深心之所欲 助顯第一義
值諸過去佛 或持戒忍辱
種種修福慧 皆已成佛道
若人善軟心 皆已成佛道
供養舍利者 金銀及琉璃
玫瑰琉璃珠 莊嚴校於諸塔
栴檀及沈水 磚瓦泥土等
積土成佛廟 聚沙爲佛塔
皆已成佛道 建立諸形像
皆已成佛道 鑄石赤白銅
鐵木及與泥

①利二摩②隨二隨③妄二空④慧二德⑤已二後⑥種二種⑦顯二現⑧車渠二磚渠⑨馬腦二馬腦⑩枝二枝⑪檀二檀⑫磚瓦泥二磚瓦泥⑬石二石⑭泥二泥